



人間系コロキウム

# 第13回

2014年

10月29日(水)

16:00~18:30

総合研究棟  
A棟 A110

共催

人間学類35周年記念事業

お問い合わせ

人間系研究戦略委員会  
(コロキウム運営担当)

✉ [research@human.tsukuba.ac.jp](mailto:research@human.tsukuba.ac.jp)

# 筑波大学 人間系コロキウム

## お互い様の共生人間科学 -社会心理学から-

講演1: 「お返し」の社会心理学

筑波大学人間系教授 相川 充

「お互い様」の中核には「お返し」がある。相手に何かしてもらったときに相手に「お返し」することを社会心理学の用語では「返報」と言う。この返報という現象が起こるのは、私たちが、ほかの人に何かをしてもらうと負債感(すみません)と感謝(ありがとう)との両方を感じるからである。私たちは、負債感を減らしたくてお返しをし、感謝の気持ちが湧くと、良いことをしたくなってお返しをする。負債感や感謝の大きさを決めるのは何か、また、感謝が私たちの心と行動にどう影響するのか、お話ししたい。

講演2: 支援者にも支援を

筑波大学人間系教授 松井 豊

災害時に職業的に人を救援し、支援する立場の方々も、活動時や活動後に外傷性ストレス(惨事ストレス)を体験することがある。惨事ストレスは当初、消防職員や自衛隊員などのストレスに焦点が当てられてきたが、東日本大震災以降は一般公務員や教員などの惨事ストレスにも注意が払われるようになってきた。様々な職種の方が体験する惨事ストレスについて説明し、これらの方に対する支援のあり方について論じる。

Education

Psychology

Disability Sciences